

RUNSYSTEM CO.,LTD

株式会社ランシステム
2022年6月期 決算資料

2022年8月31日

<https://www.runsystem.co.jp/>

- contents

- **決算概要**

- **事業紹介**

- **補足資料**

Runsystem

・株式会社AOKIホールディングスとの資本業務提携について



株式会社AOKIホールディングス（以下、「AOKIホールディングス」といいます。）との間の資本業務提携に関する契約の締結及びAOKIホールディングスに対する第三者割当による新株式の発行（以下、「本第三者割当増資」といいます。）を行っております。これにより、AOKIホールディングスは、当社の主要株主、主要株主である筆頭株主及び親会社に該当することとなりました。

① 目的

当社グループは、前連結会計年度末時点において、2期連続で営業損失、親会社株主に帰属する当期純損失及びマイナスの営業キャッシュ・フローを計上しており、継続企業的前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しておりました。当該状況を解消すべく、資本の増強を図るとともに、運転資金を確保することを目的として本第三者割当増資による資金調達を行い、当連結会計年度末においては継続企業的前提に重要な疑義を生じさせるような状況は解消されております。

② 選定理由

本第三者割当増資の実行に当たって、割当予定先について、弊社の複数の既存取引先や役員等を候補として検討を行いました。その結果、本第三者割当増資が当社の進行期（2022年6月期）中に実行できること、割当金額等の条件が合致し今般のタイミングにて割当を受けて頂けること、AOKIホールディングスは弊社の開発したシステムを高く評価しており、良好な協力体制を構築してきていること及び弊社の経営・事業に関する見解が一致したことから、AOKIホールディングスを選定いたしました。

③ 今後の見通し

現時点では、本資本業務提携による当社の業績への具体的な影響額については未定ですが、今後更なる効果的なシステム開発体制の構築、コストパフォーマンスの向上、業界の活性化など、多大なメリットを見込んでおります。なお、当社の株式に関しましては、東京証券取引所スタンダード市場への普通株式の上場及び上場会社としての独立性を維持する方針で、AOKIホールディングスと見解が一致しております。

・ 事業構成



ランシステムグループの運営する事業

直営店舗事業

直営店舗の運営（株式会社ランセカンドを含む）

外販事業

各種物品・システム等の販売及び保守、
自遊空間のフランチャイズ店舗のサポート

不動産事業

不動産物件の管理

児童発達支援事業

児童・生徒の発達支援（株式会社ランウェルネス）

その他

研修事業等

・ 要約損益計算書



単位：百万円

	2021年6月期	2022年6月期	前年比
売上高	4,918	4,346	88.4%
売上原価	4,733	4,206	88.9%
売上総利益	184	139	75.7%
販売費及び一般管理費	817	774	94.7%
営業損失 (△)	△633	△634	-
経常損失 (△)	△614	△588	-
特別利益	1	51	3050.1%
特別損失	300	132	44.0%
当期純損失 (△)	△951	△682	-

・セグメント実績/売上高



単位：百万円

単位：百万円

売上	2021年6月期	2022年6月期	前年比	営業利益、又は 営業損失（△）	2021年6月期	2022年6月期	前年比
直営店舗事業	3,017	2,933	97.2%	直営店舗事業	△604	△462	-
外販事業	1,246	859	68.9%	外販事業	114	△32	-
不動産事業	256	112	43.9%	不動産事業	92	86	93.3%
児童発達支援事業	442	470	106.2%	児童発達支援事業	62	66	106.9%
その他	2	6	218.6%	その他	△6	△6	-
調整額	△48	△35	-	調整額	△291	△285	-
合計	4,918	4,346	88.4%	合計	△633	△634	-

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及び、各報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

※「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研修事業等を含んでおります。

・ 要約貸借対照表 / 資産



単位：百万円

資産	2021年6月期末	2022年6月期	前期末からの増減額	前期末比
現金及び預金	486	970	483	199.4%
売掛金	241	241	0	100.1%
商品及び製品、 原材料、貯蔵品	137	158	21	115.6%
その他	199	159	-40	79.9%
貸倒引当金	-5	-5	0	100.6%
流動資産合計	1,058	1,524	465	143.9%
資産	2021年6月期末	2022年6月期	前期末からの増減額	前期末比
有形固定資産	1,671	1,306	-364	78.2%
無形固定資産	58	38	-19	66.3%
投資、その他の資産	859	796	-63	92.7%
固定資産合計	2,588	2,141	-447	82.7%
資産合計	3,647	3,665	17	100.5%

・ 要約貸借対照表/負債



単位：百万円

負債	2021年6月期末	2022年6月期	前期末からの増減額	前期末比
買掛金	91	99	8	108.7%
短期借入金	300	100	-199	33.7%
1年内返済予定の 長期借入金、及び社債	81	130	48	159.3%
その他	223	370	147	165.9%
流動負債合計	696	700	4	100.6%
	2021年6月期末	2022年6月期	前期末からの増減額	前期末比
長期借入金及び社債	2,428	2,378	-49	98.0%
資産除去債務	238	194	-43	81.6%
その他	208	139	-68	66.9%
固定負債合計	2,874	2,711	-162	94.4%
負債合計	3,570	3,412	-157	95.6%

・ 要約貸借対照表 / 純資産



単位：百万円

純資産	2021年6月期末	2022年6月期	前期末からの増減額	前期末比
資本金	100	100	0	100.0%
資本剰余金	1,335	947	-388	71.0%
利益剰余金	-1,231	-702	529	-
自己株式	-92	-92	0	100.0%
その他の包括利益累計額	0	0	0	-
純資産合計	111	253	141	226.9%
負債、純資産合計	3,647	3,665	17	100.5%

Topics

2021年9月29日開催の定時株主総会決議にて、資本準備金の額の減少及び剰余金の処分による欠損填補を行っており、資本剰余金が1,212百万円減少し、利益剰余金が同額増加しております。

また、第三者割当による新株式の発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ412百万円増加し、2022年6月29日に開催しました臨時株主総会決議にて、資本金の額の減少を行っており、資本金の額が412百万円減少し、資本剰余金が同額増加しております。

・ キャッシュフロー計算書



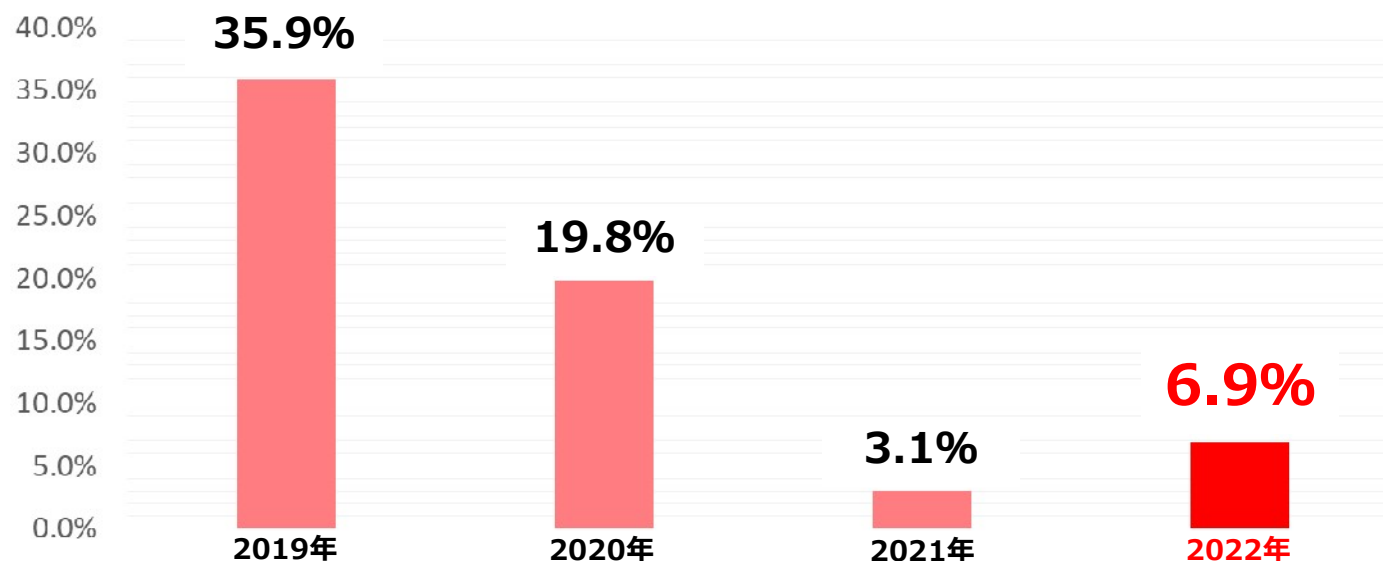
単位：百万円

	2021年6月期	2022年6月期	増減額	主な要因
I. 営業活動による キャッシュフロー	-525	-328	196	当期増加要因 減価償却費191百万円等 当期減少要因 税金等調整前四半期純損失670百万円等
II. 投資活動による キャッシュフロー	13	207	194	当期増加要因 有形固定資産の売却による収入210百万円等
III. 財務活動による キャッシュフロー	141	604	463	当期増加要因 株式の発行による収入804百万円等 当期減少要因 短期借入金の純減額199百万円等
	2021年6月期末	2022年6月期	増減額	
IV. 現金及び、 現金同等物残高	486	970	483	-

・自己資本比率



自己資本比率推移



単位：百万円

	2019年6月期末	2020年6月期末	2021年6月期末	2022年6月期
純資産	1,827	923	111	253
総資産	5,096	4,665	3,647	3,665
自己資本比率	35.9%	19.8%	3.1%	6.9%

Topics

新型コロナウイルス感染症による影響が拡大する中、店舗来店客数が減少しており、直近においても、変異株による感染再拡大やライフスタイルの変化など、厳しい経営環境が続いております。

なお、第2四半期連結会計期間末時点では、130百万円の債務超過となっておりましたが、AOKIホールディングスとの資本業務提携及び第三者割当増資等により、債務超過は解消され、当面の運転資金は確保されております。

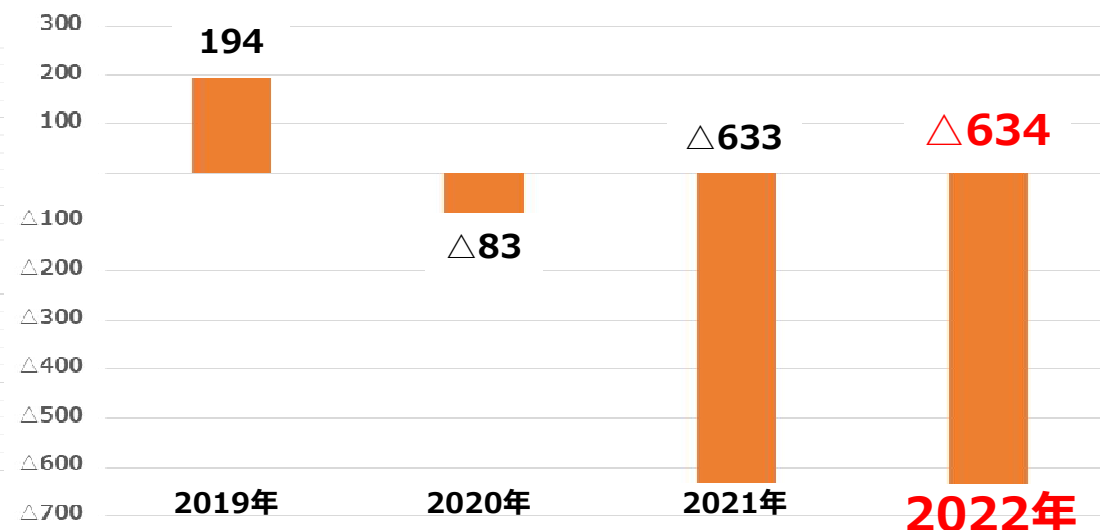
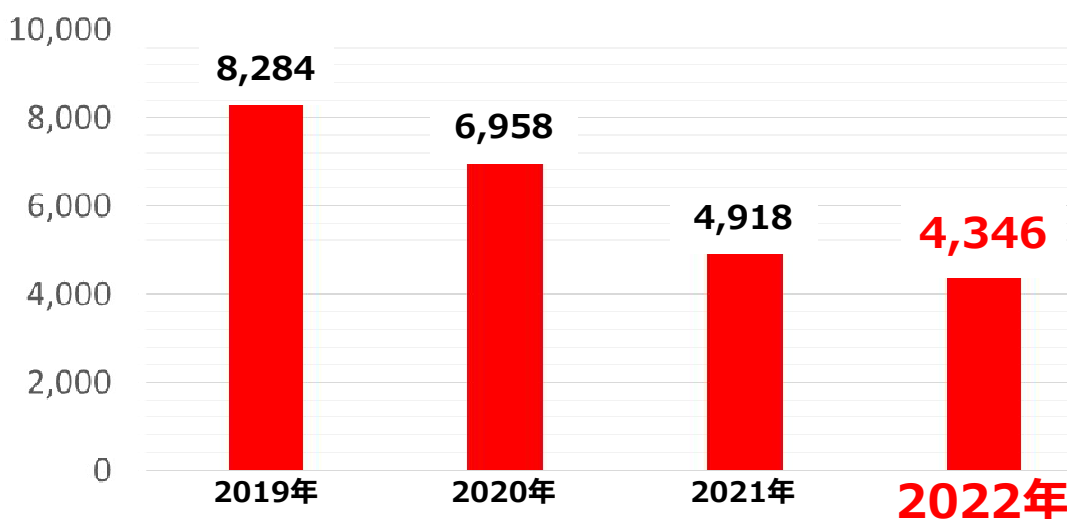
・ 売上実績推移、及び、営業利益実績推移



単位：百万円

売上実績推移

営業利益実績推移



Topics

新型コロナウイルス感染症による影響が拡大する中、店舗来店客数が減少したことを主な要因として、売上高・営業利益ともに大きく減少し、3期連続で営業損失、親会社株主に帰属する当期純損失を計上しております。
なお、当連結会計年度の期首より、収益認識に関する会計基準を適用し、従来の会計処理と比較して売上高が279百万円減少しております。

・対応策について

①資金の確保

AOKIホールディングスとの資本業務提携及び第三者割当増資により、当面の運転資金は確保されておりますが、主要取引金融機関の交渉、不動産売却、その他資産売却による資金の確保を継続的に行っていくほか、政府による緊急経済対策に基づく制度の利用、各種助成金の利用等についても引き続き協議して参ります。

②収益増

直営店舗事業においては、コロナ禍以前の売上規模に比べて8割程度の売上高に持ち直すことで収益が見込めるよう収益構造の適正化を図るとともに、AOKIホールディングスのグループ会社である株式会社快活フロンティアが運営する店舗とのノウハウの共有、店舗備品の共同仕入れ等により運営コストの見直しを引き続き図って参ります。

外販事業においては、AOKIホールディングスのグループ会社の運営する店舗へのセルフ化システム等の導入を進めるほか、テレワークやサテライトオフィス環境の提供及び当社の複合カフェブースの開発、運用のノウハウを活かしたセルフ化システム各種を、店舗運営の大きな課題である人材不足に対応するソリューションとして、同業他社だけでなく、店舗運営をする様々な業態へ提案、販売強化を進めて参ります。

別途、新規事業として、バーチャルタレントの支援プラットフォーム「FanPicks」の登録者数及び利用者数の拡大等に注力していく他、新たな柱となる事業を生み出すべく、新規事業開発にも注力して参ります。

③コスト削減

直営店舗の家賃減額、変動費の見直し等を実施し、全社的にかかるコストを再度見直し、販管費の削減を行って参ります。また、運営体制の効率化によるコスト圧縮を引き続き行って参ります。

・通期予測について



単位：百万円

	2022年6月期	2023年6月期予測	前期
売上高	4,346	5,300	121.9%
営業利益、又は 営業損失（△）	△634	80	-
経常利益、又は 経常損失（△）	△588	50	-
当期純利益、又は 当期純損失（△）	△682	50	-

Topics

2022年7月28日開催の取締役会において、2022年9月28日（水）開催予定の第34期定時株主総会における「定款一部変更の件」が承認されることを条件として、決算期を6月30日から3月31日に変更する決議をしております。

このため経過期間となる2023年6月期は、2022年7月1日から2023年3月31日の9か月決算に変更となり、通期予測を修正する場合があります。

- contents

- 決算概要

- 事業紹介

- 補足資料

Runsystem

「課題」 (取り巻く環境)

- コロナ禍影響の長期化
- ライフスタイルの変化
- 消費者の価値観の多様化

■基本の徹底

- ・サービス業としての基本の徹底＝清掃、接客、笑顔等
- ・感染症対策の徹底（店舗、ご利用者様へのアナウンス、各事務所等）
- ・全部署全業務の基本の再確認と徹底

■コストマネージメント

- ・全社的な更なるコスト最適化継続
- ・セルフ化、リモート接客による店舗運営オペレーションコストの最適化

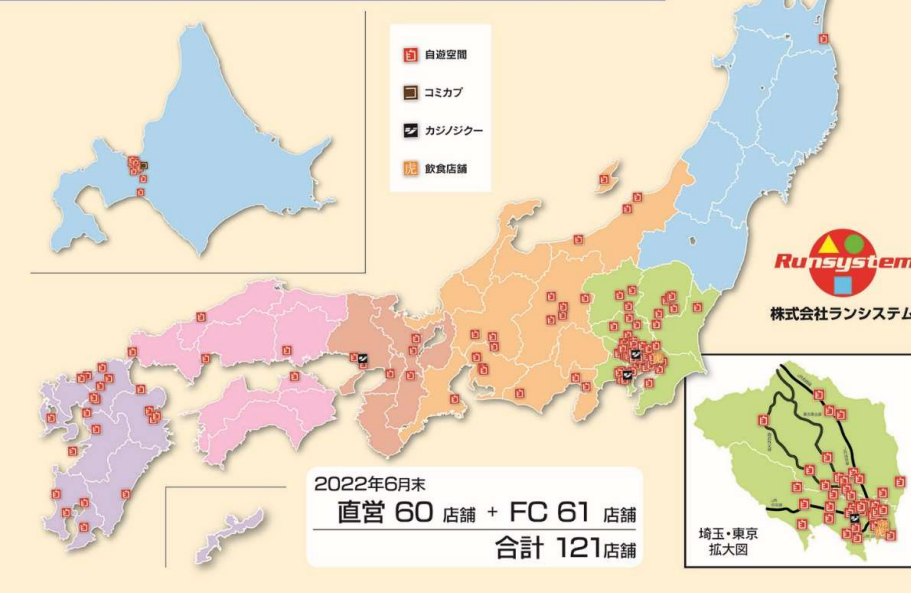
■リアル店舗以外での収益強化

- ・システム外販事業強化のスピードアップ（人材、新商品、営業強化等）
- ・Vタレント専用プラットフォーム「FanPicks」等のVタレント関連事業の強化
- ・児童発達支援事業の安定運営（ランウェルネス）

・ 事業紹介/直営店舗事業/展開地域



ランシステムグループ 全国店舗マップ



※株式会社ランセカンド運営の8店舗は直営に含む

地区	直営 複合カフェ	直営 その他	FC	合計
北海道・東北	10	1	1	12
関東	33	4	24	61
中部	5	0	12	17
近畿	5	1	1	7
中国・四国	0	0	4	4
九州・沖縄	1	0	19	20
全国合計	54	6	61	121



121店舗

※コミカプ、ジュー、飲食店舗を含む



麵屋虎杖
menya ITADORI

- ・ 事業紹介/直営店舗事業/感染症防止対策の徹底



ウイルス感染症拡散防止

お客様へ快適で安全な空間を提供する

コロナウイルス 徹底対策中

回遊空間では以下の取組みを行っています。

スタッフはマスク着用を 変換しています	店内清掃時 消毒を おこなっています	定期的に店内 換気を おこなっています
入館時に 手指の消毒を ご協力ください	お客様のマスクの 着用をお願い	スタッフは定期的に 手指の消毒を おこなっています
並ばれる際 離れて お並びください	対面カウンター シートで飛沫防止	お金の受け渡し トレーにて おこないます

基本の徹底

アルコール消毒

定期的な換気の実施

店舗全スタッフのマスク着用・検温の義務化

利用されるお客様へマスク着用

カウンターに飛沫（ひまつ）防止シート等

回遊空間では以下の取組みを行っています。

次のお客様のご利用は

お断りします

当店では、お客様に安心してご利用していただくために、下記症状のあるお客様につきましてはご利用をお断りしております。お客様自身におきましても、下記の自覚症状がある場合は、大変恐縮ではございますがご利用をお断りいただきますよう、ご配慮のほど宜しくお願い申し上げます。

体温が 37.5度以上の方	マスクを着用しての ご利用をお願い致します
咳、くしゃみが 持続して発生している方	その他 体調の優れない方

・ 事業紹介/直営店舗事業/自遊空間/テレワーク対応



【テレワークへの取り組み】

自遊空間では、新たな空間創出のカタチとして、「遊びに・ビジネスに・リラックスに」いつでも快適な時間を皆様にご提供するべく、自宅以外でのテレワークの場としてご活用いただけるよう、各種ビジネス環境を整えて運営しております。

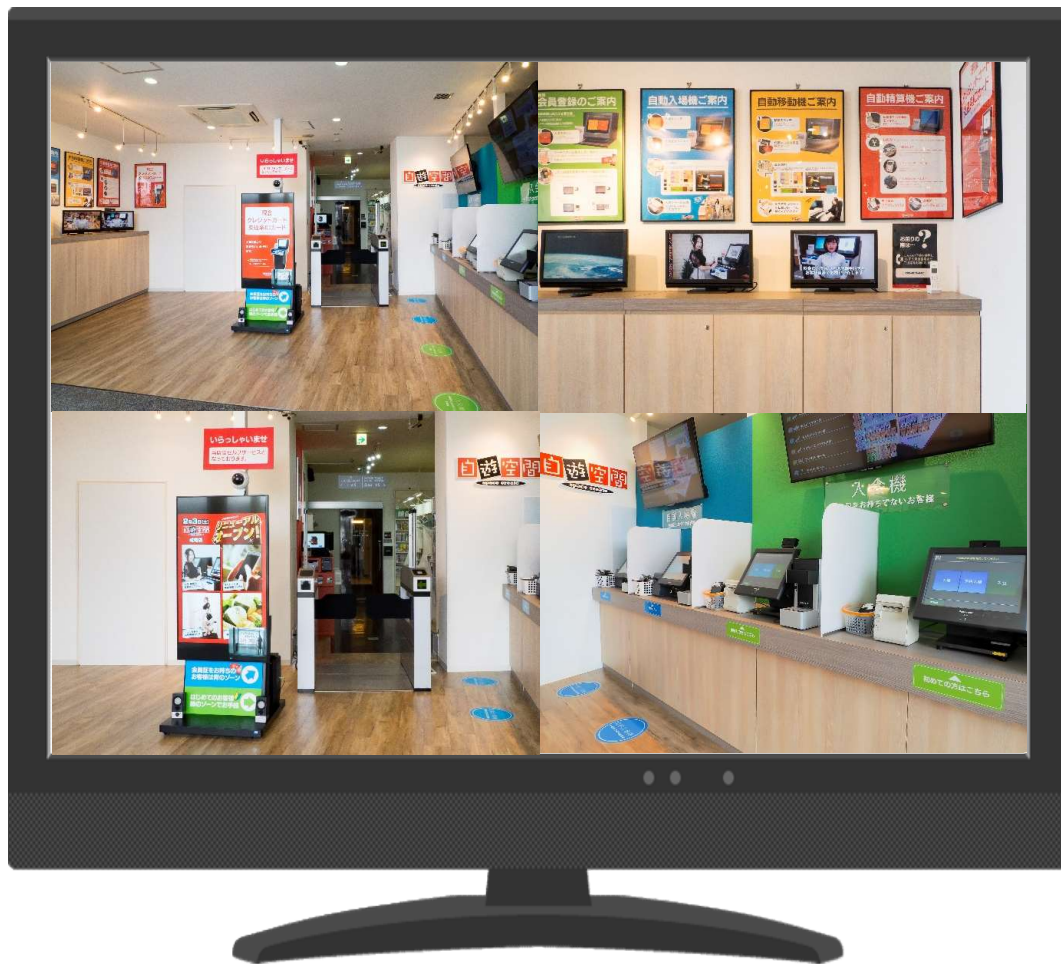
また、外販事業のシステム外販と協力して、FC店舗を含む全国の自遊空間店舗をサテライトオフィス提供サービス「R-Work」のサービス提供施設として利用しているほか、ワークプレイス検索・予約サービス「Suup（スープ）」の提供施設としても利用しております。



・ R-Work とは

自遊空間及び全国の提携施設をR-Work契約企業のサテライトオフィスとして利用できるサービスです。法人向けシェアリングサービス「anyplaceパスポート」とも提携しており、全国およそ200ヶ所の施設から自分に合った仕事環境を選べます。位置情報（施設情報）と連動した入退室記録を契約企業へ提供することで、企業の労務管理に活用いただけます。また、R-Work利用料は法人決済でのお支払いとなり、企業内での経費精算業務を発生させません。一方、R-Work提供施設に対しては利用時間に応じた施設利用料金をお支払いします。

・ 事業紹介/直営店舗事業/自遊空間/セルフ化



『セルフ化店舗』とは

- ・ 自動入退場システム
- ・ クレジット決済による事前予約システム
- ・ 防犯システム
- ・ リモート接客



- ・ 運営コストの削減
- ・ 人員不足の解消
- ・ お客様のスムーズな店舗利用

※当店では、店舗を快適に、安心してご利用いただくために、24時間体制で店内をモニタリングしており、店内環境の維持と防犯・防災・防火に努めております。

・ 事業紹介/直営店舗事業/自遊空間/リモート接客



『リモート接客』とは

- 自遊空間の運用を熟知した専門スタッフが24時間365日リモートで接客を行います。
- 少人数のスタッフが効率よく多拠点のリモート接客を行います。
- リモート接客をするスタッフは、店舗に設置されたモニターを経由し、案内図や動画を使い、質の高い接客を提供します。
- リモート接客の記録を蓄積し、サービス向上を推進します。

専門知識を持ったスタッフの稼働効率アップ



・ 事業紹介/直営店舗事業/アミューズメントカジノジュー



アミューズメントカジノ ジューは、“for the good smile”を基本コンセプトに、カジノゲームを「楽しく・わかりやすく・安全に・健全に・かっこよく」遊んでいただくことができる、新しいアミューズメントのカタチを提供しています。

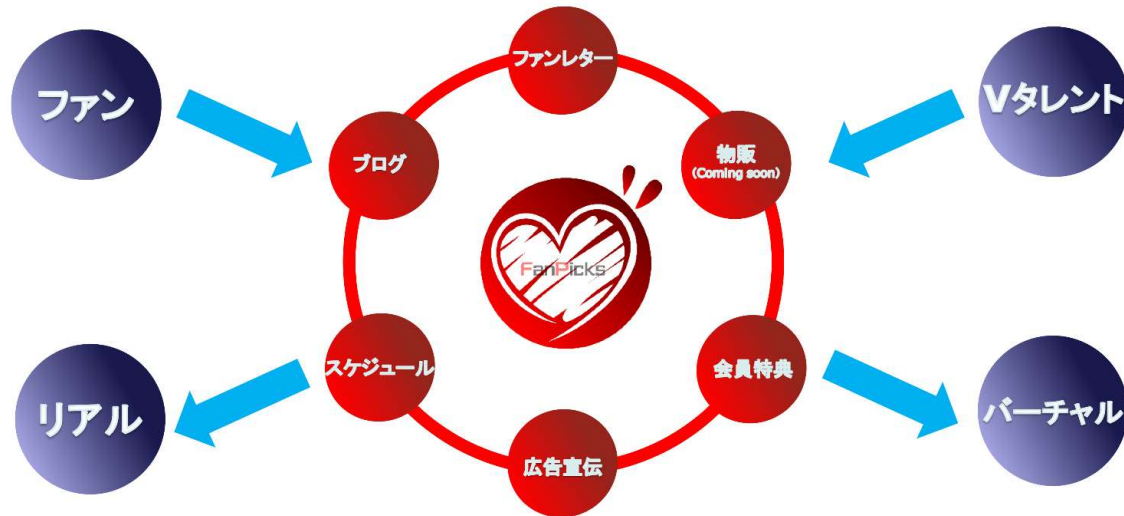
西武新宿駅前店をはじめ、神奈川県伊勢佐木長者町店、京都府の京都新京極店と出店を進めており、店舗オリジナルのイベントや、競技ポーカーのサテライト会場としての大会実施など、様々なイベントを実施し、多くのお客様に楽しんでいただいております。また、ドラマや映画の撮影場所としてもご利用いただいております。

・ 事業紹介/直営店舗事業/VTuber関連事業①



【 **FanPicks**  (<https://www.fanpicks.jp/>) 】

「日常にバーチャルのある世界を」をミッションに、ファンがVタレントとより身近に・より簡単につながることができ、Vタレントが安心・安定して活動できるプラットフォームを、2021年9月にオープンしました。



私たちはFanPicksを通じて、Vタレント業界の発展に協力していきます。

・ 事業紹介/直営店舗事業/VTuber関連事業②



【ろさ プロフィール】

生年月日：9月30日

出身地：非公開

血液型：非公開

性別：非公開

趣味：アニメ 映画 野球 音楽VTuber

■ Twitter：ろさ@自遊空間VTuber

<https://twitter.com/jiqoorosa>

■ YouTube：ろさ☆ちゃんねる

<https://www.youtube.com/channel/UCAh7tuJje4mbTNXzgxbz7LQ>



【如月カルラ プロフィール】

生年月日：8月6日

出身地：非公開

血液型：非公開

性別：女性

趣味：掃除、ゲーム、プラモデル作り

■ Twitter：如月カルラ🌸🌙

https://twitter.com/kisaragi_karura

■ YouTube：如月カルラch.

<https://www.youtube.com/channel/UCFnNwldXFYjdmeAkLJ8eDRw>



自遊空間事業から公認のVTuberをデビューさせ、VTuberの活動を応援、推進するVTuber関連事業を展開しております。

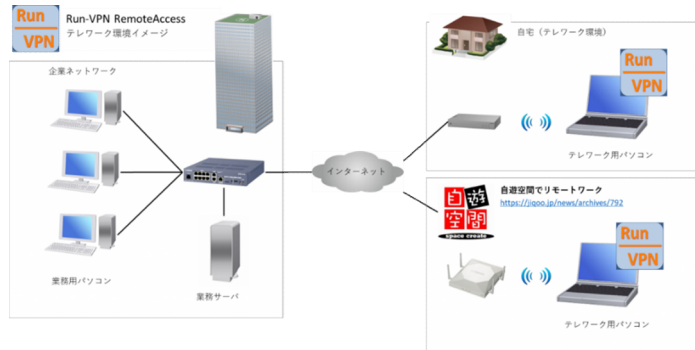
・ 事業紹介/外販事業/システム外販



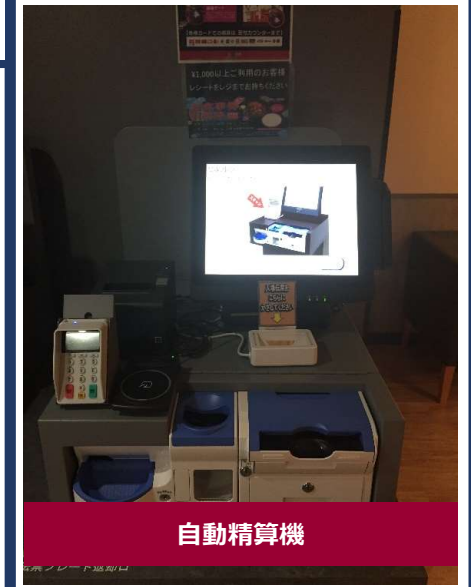
会員入会システム、入退場システム、ネットワーク構築等、様々な提案を行っています

■ 主要な商品

・ Run-VPN（リモート接続）の販売



- ・ UTM（セキュリティ装置）の販売
- ・ ファイルサーバーの販売
- ・ POSシステムの導入
- ・ 会員管理システムの導入
- ・ セルフシステムの導入
- ・ 無線LAN設備の導入
- ・ パソコン及び周辺機器の販売



-system-

・ 事業紹介/外販事業/システム外販/テレワーク推進



■ 「ConnectWise Control アクセス」の販売

「ConnectWise Control アクセス」とは
専用のweb サイトにアクセスし認証を済ませると遠隔地から社内パソコンの画面、マウス／キーボードの操作が可能となるサービスです。

通信は暗号化されており、多要素認証にも対応しているため、安全性が確保されており、自宅近くのインターネットに接続が可能な様々な環境（複合カフェ、カラオケボックス、カフェなど）からリモートで業務を行うことができるため、テレワークの導入に最適な商品となっております。



・事業紹介/児童発達支援事業(株式会社ランウェルネス)①



発達の遅れや偏りが見受けられるお子さまを対象に、放課後の居場所をつくとともに、自立した日常生活をおくれるための必要な訓練や地域交流の機会を創出し、お子さまが本来もっている才能を引き出す支援をします。

支援内容

学校授業終了後や長期休暇中(夏休み・冬休み等)に生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進など多様なメニューを設け、ご家族、お子さま本人の希望を踏まえたサービスを提供します。

自立した日常生活を
営むために必要な訓練

地域交流の
機会の提供

各種創作活動
(絵画、工作)

レクリエーション
余暇の提供など

※学校と放課後等デイサービスのサービスの一貫性に配慮しながら学校との連帯・協働による支援を行います。

・事業紹介/児童発達支援事業(株式会社ランウェルネス)②



ハッピーキッズスペースみんと施設マップ



現在、12施設を運営しております。

- ・みんと大塚
- ・みんと川崎子母口
- ・みんと川崎新城
- ・みんと川崎平間
- ・みんと横浜吉野町
- ・みんと横浜センター北
- ・みんと東川口
- ・みんと第2東川口
- ・みんと越谷
- ・みんと北越谷
- ・みんと東大宮
- ・みんと大宮日進

【運営に関して】

施設を利用されるお子様をはじめ、全従業員、関係者の方の、新型コロナウイルス感染症の感染防止に注力し、一層の安全管理体制を整え、運営を行っております。

- contents

- 決算概要

- 事業紹介

- 補足資料

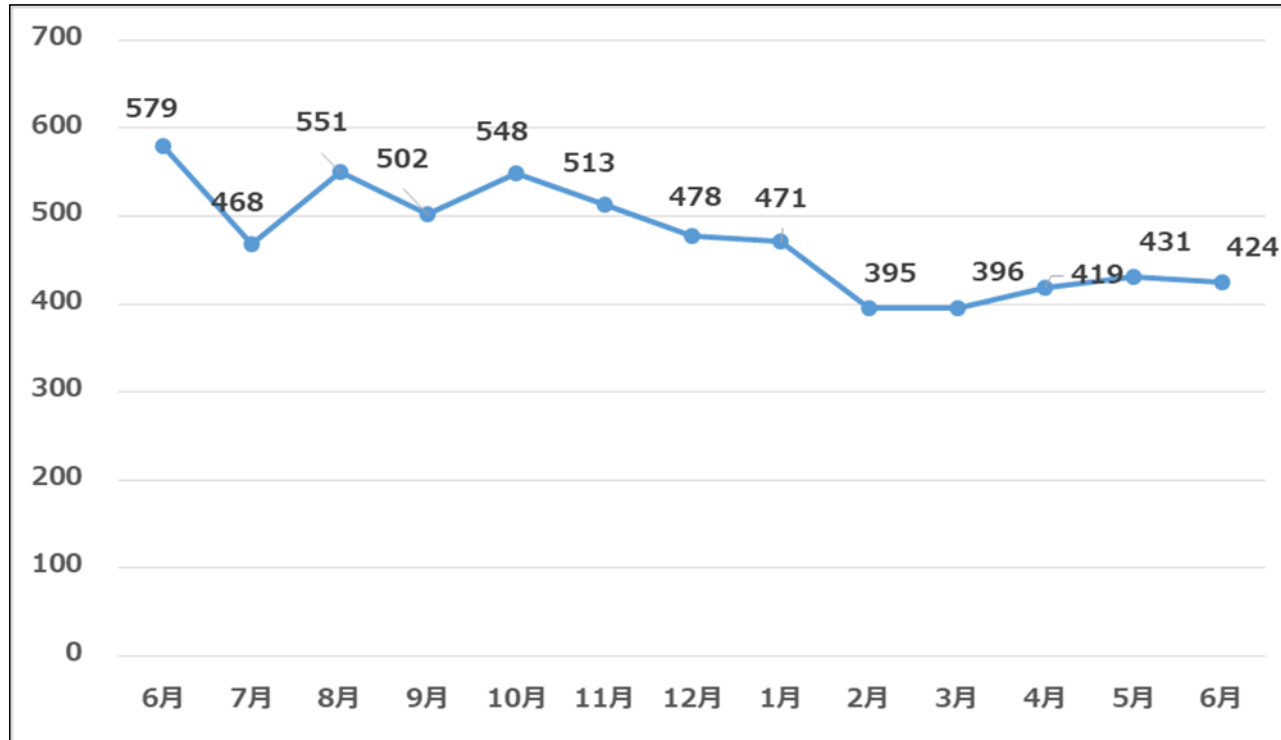
Runsystem

・ 補足資料/株価チャート



2022年6月期平均株価チャート

株式会社ランシステム 平均株価推移



3326

・ 補足資料/会社情報



社名	株式会社ランシステム (RUNSYSTEM CO.,LTD.)
設立	1988年12月21日
決算月	6月
資本金	100百万円 (発行株式数4,380,900株)
上場市場	東京証券取引所JASDAQ (事業年度末現在) /スタンダード市場 (提出日現在)
主な事業内容	1.直営店舗事業 2.外販事業 3.不動産事業 4.児童発達支援事業 5.その他
本社所在地	埼玉県狭山市狭山台4-27-38
代表者	代表取締役社長 日高 大輔 (ひだか だいすけ)
社員数	グループ社員数 208名 (2022年6月末現在) ※役員除く
店舗数	グループ店舗数 121店舗 (直営60店舗・FC61店舗) 6月末現在
子会社	株式会社ランセカンド (直営店舗事業) 東京都豊島区池袋2-43-1 池袋青柳ビル3F 株式会社ランウェルネス (福祉事業) 東京都豊島区池袋2-43-1 池袋青柳ビル3F

【当資料についての注意点】

本資料に記載されている業績見通しは、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいて作成されたものであり、リスクや不確定要素を含んだものとなります。実際の業績は様々な要素により、本業績見通しとは大きく異なる可能性がありますことをご了承下さい。